

編集復刻版

戦前期 仏教社会事業 資料集成

第14巻 補遺編
(全1巻・別巻1)

編・解題

高石史人 (筑紫女学園大学名誉教授)
菊池正治 (久留米大学名誉教授)
中西直樹 (龍谷大学教授)

●体裁

A4判／上製／布クロス装／約490頁(第14巻)、A5判／上製／約260頁(別巻『戦前期仏教社会事業の研究 第2集』)

●揃定価

38,060円
(揃本体34,600円＋税10%) ISBN978-4-8350-8457-2

●推薦

長谷川匡俊 (長谷川仏教文化研究所所長)
室田保夫 (関西学院大学名誉教授)

●刊行

2021年7月

●収録資料一覧

14-1	『仏教徒同志団体創立事務所報告 第一号、仏教徒同志団体創立事務所 (明治四十二年五月)』
14-2	『仏教徒同志団体創立事務所報告 第二号、同 (明治四十二年七月)』
14-3	『仏教徒同志団体創立事務所報告 第三号、同 (明治四十二年一〇月)』
14-4	『仏教同志会々報 第一号、仏教同志会 (明治四十二年四月)』
14-5	『慈善団報 第二六号、第五三三号、大日本仏教慈善会財団 (明治三十八年五月、明治四〇年八月) * 第四五号欠』

別巻 『戦前期仏教社会事業の研究 第2集 高石史人先生追悼論集』

編・解題

高石史人
菊池正治
中西直樹

『戦前期仏教社会事業資料集成』の補遺編として刊行された第14巻の解題であると同時に、井上友一や田子一民、真宗教団における社会事業等の諸論考を収録。『戦前期仏教社会事業資料集成』全13巻の解題等を収録する『戦前期仏教社会事業の研究』(2013年)と併せて、戦前における仏教者の社会事業史を概観する必見の論集。また本書は、編者である高石史人先生の急逝を受け、その追悼論集としてあらたに再構成、斯界に問うものである。

●内容

【第一部 論考 戦前期仏教社会事業…高石史人先生追悼論集】

天皇制国家における救済の論理——井上友一論(高石)／「感化救済」から「社会事業」へ——田子一民試論(高石)／戦前期、真宗教団の慈善と社会事業(菊池)／仏教徒社会事業大会の歴史的意義(中西)

【第二部 『戦前期仏教社会事業資料集成 第14巻 補遺編』解題】

仏教同志会の創立過程(菊池)／浄土真宗本願寺派の戦前期社会事業に関わる補遺・補訂資料(高石)／天台宗・時宗の戦前期社会事業(中西)／高石史人先生 略年譜・著作目録／『戦前期仏教社会事業資料集成』収録資料一覧

●体裁
●定価
A5判／上製／約260頁
5,060円
(本体4,600円＋税10%)
ISBN978-4-8350-8460-2



不二出版

〒112-0005
東京都文京区水道2-10-10
TEL 03-5981-6704
FAX 03-5981-6705
振替 001600294084

表示価格はすべて税別

編集復刻版

戦前期 仏教社会事業 資料集成

第14巻 補遺編
(全1巻・別巻1)

近代日本において、

仏教による社会事業の全貌を
はじめて明らかにする貴重資料群！
——好評シリーズに新発見資料を補い、
関連論考とともにあらたに集成する決定版——

編・解題

高石史人 (筑紫女学園大学名誉教授)
菊池正治 (久留米大学名誉教授)
中西直樹 (龍谷大学教授)

●体裁

A4判／上製／布クロス装／約490頁(第14巻)
A5判／上製／約260頁(別巻『戦前期仏教社会事業の研究 第2集』)

●揃定価

38,060円
(揃本体34,600円＋税10%) ISBN978-4-8350-8457-2

●推薦

長谷川匡俊 (長谷川仏教文化研究所所長)
室田保夫 (関西学院大学名誉教授)

●刊行

2021年7月

不二出版



編集復刻版

戦前期仏教社会事業資料集成

全3回配本・全13巻

社会事業の分野で、戦前期に仏教が果たした大きな役割を跡づける最も基本的な資料を精選。膨大な数にのぼる仏教者有志が設立した団体、各宗派が主導したさまざまな社会事業、施設の全貌を明らかにする、社会福祉研究者必見の重要資料！

- 編者——高石史人・菊池正治・中西直樹
- 推薦——長谷川匡俊・室田保夫
- 体裁——A5判・上製・総約7、500頁
- 揃定価——367、400円
(揃本体334、000円＋税10%)

※各配本定価、収録内容については、本頁裏面をご覧ください。

論集 戦時下「日本仏教」の国際交流

——龍谷大学アジア仏教文化研究叢書II——

全1巻

戦時下における「日本仏教」の試みは、いかなるものか？国際連盟脱退、孤立した戦時下の日本社会において、仏教者たちは欧米、アジア諸国の仏教者との連携を模索し続けた。戦時下、「日本仏教」が試みた国際的連携の実態を検証し、現代における宗教間対話、平和運動へと架橋する、はじめての試み！第一部「論考」編と、『資料集・戦時下「日本仏教」と国際交流』全10巻収録の7誌の総目次を附す第二部「各誌総目次」からなる。

- 編集——中西直樹・大澤広嗣
- 著者——中西直樹／大澤広嗣／野世英水／林行夫
- 体裁——A5判・上製・266頁
- 定価——6、380円(本体5、800円＋税10%)
ISBN 978-4-8350-8266-0
- 刊行——2019年12月

編集復刻版(龍谷大学アジア仏教文化研究叢書)

資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流

全V期・全10巻

十五年戦争という前代未聞の時代状況において、日本仏教がアジア諸地域の仏教とのさまざまなネットワークを模索した、その軌跡を明らかにする。「汎太平洋」「南方」「中国」…東アジア諸国の仏教者との連携のなかで共生を目指した日本仏教の苦闘と達成を伝える貴重資料の数々をついに復刻。

- 編者——龍谷大学アジア仏教文化研究センター「戦時下「日本仏教」の国際交流」研究班(中西直樹(代表)・林行夫・吉永進一・大澤広嗣)
- 推薦——赤松徹眞(本願寺史料研究所長) 楠淳證(龍谷大学アジア仏教文化研究センター長)
- 体裁——B5判・上製・総4、152頁
- 揃定価——259、600円
(揃本体236、000円＋税10%)

■第Ⅰ期「汎太平洋仏教青年会大会並会議紀要」全2巻

- 第1巻『第一回汎太平洋仏教青年会大会並会議紀要』
(汎太平洋仏教青年会連盟、昭和6年)
〔兄弟〕2巻2号(北米仏教青年会連盟ほか 昭和9年)
- 第2巻『昭和十八年一月 大日本仏教青年会連盟要覧』
(大東亜仏教青年大会準備事務局、昭和18年) ほか
- 頁数——総1、800頁
- 揃定価——52、800円(揃本体48、000円＋税10%)
ISBN 978-4-8350-7857-1
- 刊行——2016年2月

■第Ⅱ期「南方仏教圏との交流」全3巻

- 第3巻～第5巻『海外仏教事情』1巻1号—10巻4号
(国際仏教協会、昭和9年8月—19年10月)
『大東亜建設学徒大会紀要』
(大東亜仏教青年大会、昭和18年)
- 頁数——総1、268頁
- 揃定価——79、200円(揃本体72、000円＋税10%)
ISBN 978-4-8350-7860-1
- 刊行——2016年10月

■第三期「中国仏教との提携」全2巻

- 第6巻『国際仏教通報』1巻1号—3巻10号
(国際仏教通報局、昭和10年4月—12年11月)
- 第7巻『日華仏教』1巻1・2・5号、2巻1号
(日華仏教会、昭和11年1月—12年1月)
- 『支那宗教事情』1号—5号
(日華仏教研究会、昭和13年12月—14年8月)
- 『東亜宗教事情』6号—10号
(同、昭和14年11月—15年7月)

- 頁数——総740頁
- 揃定価——50、600円(揃本体46、000円＋税10%)
ISBN 978-4-8350-7864-9
- 刊行——2017年9月

■第Ⅳ期「全日本仏教青年会連盟機関誌『青年仏徒』」全2巻

- 第8巻『青年仏徒』1巻1号—3巻9号
(全日本仏教青年会連盟、昭和11年7月—13年11月)
- 第9巻『青年仏徒』4巻1号—8巻2号
(同、昭和14年1月—18年6月)
- 頁数——総782頁
- 揃定価——50、600円(揃本体46、000円＋税10%)
ISBN 978-4-8350-8206-6
- 刊行——2018年2月刊行

■第Ⅴ期「チベット仏教との連携」全1巻

- 第10巻『収録内容』
『依宗教日支親善』(田中清純編・発行、昭和8年)
『興亜密教』1号(高野山興亜密教学院、昭和19年)／『日蒙蔵全仏教徒提携親善宣言書』(寺本婉雅著訳、京都仏教青年会学生連盟事務所、昭和14年)
- 頁数——総324頁
- 定価——29、400円(揃本体24、000円＋税10%)
ISBN 978-4-8350-8274-5
- 刊行——2019年2月

●第1回配本 全6巻 揃定価165、000円(揃本体150、000円＋税10%) ISBN 978-4-8350-7015-5 2011年6月刊行

【第1巻 各宗派共同編①】(解題・中西直樹)

- 1-1 『佛教徒社会事業大観』佛教徒社会事業研究会編(大正九年)
- 1-2 『東亜佛教大会紀要』峯玄光編、佛教聯合会(大正一五年)〔抄録〕

【第2巻 各宗派共同編②】(解題・中西直樹)

- 2-1 『御大典記念日本宗教大会紀要』土屋詮教編、日本宗教懇話会(昭和三年)〔抄録〕
- 2-2 『日本佛教社会事業の概況』第二回汎太平洋佛青大会準備会調査部社会班(昭和九年)
- 2-3 『紀元二千六百年記念全国社会事業大会報告書』紀元二千六百年記念全国社会事業大会事務局(昭和一六年)〔抄録〕

【第3巻 浄土真宗本願寺派編①】(解題・高石史人)

- 3-1 『大日本佛教慈善会財団要覧』(明治三五年)
- 3-2 『大日本佛教慈善会財団設立趣意演説』赤松連城口演(明治三三年)
- 3-3 『慈善財団設立の要旨』清水精一郎編、興教書院(明治三四年)
- 3-4 『慈善団報』柳善行編、大日本佛教慈善会財団(明治四二年—大正三年)〔抄録〕
- 3-5 『広陵慈善乃礎』宮前無涯編、広島感化院(明治四一年)
- 3-6 『大日本佛教慈善会財団概況』大日本佛教慈善会財団(大正二年)

【第4巻 浄土真宗本願寺派編②】(解題・高石史人)

- 4-1 『本派本願寺社会事業便覧』本派本願寺社会課(大正一一年)〔抄録〕
- 4-2 『築地本願寺社会本部事業要覧』大正一四年度 松岡了眼編(大正一五年)
- 4-3 『寺院と社会事業』社会課叢書第三輯 藤音得忍編、本派本願寺教務部社会課(昭和二年)
- 4-4 『社会事業の基調』藤音得忍著、本派本願寺社会部(昭和二年)
- 4-5 『寺院と「セトルメント」』藤音得忍編、社会部(昭和四年)

【第5巻 浄土真宗本願寺派編③】(解題・高石史人)

- 5-1 『真宗専派大日本佛教慈善会財団三十周年概況』岩坂逸三編、大日本佛教慈善会財団(昭和六年)〔抄録〕
- 5-2 『本派本願寺社会事業便覧』第四輯 小林彰策編、本派本願寺社会部(昭和三年)
- 5-3 『東京築地本願寺社会本部事業要覧』昭和六年九月 植慈想編、築地本願寺社会部(昭和六年)
- 5-4 『宗教と社会事業』佐伯祐正著、顕真学苑出版部(昭和八年)
- 5-5 『教団と社会事業』山崎精華編著、本派本願寺教務局社会部(昭和八年)

【第6巻 浄土真宗本願寺派編④】(解題・高石史人)

- 6-1 『本願寺派社会事業便覧』細川汎地編、本願寺派社会事業協会(昭和二年)〔抄録〕
- 6-2 『本派本願寺社会事業便覧』本派本願寺審議局(昭和二年)〔抄録〕
- 6-3 『本願寺派事業一覽』宮地鄭慧編、本願寺派宗務所情報課(昭和一七年)〔抄録〕*第14巻補遺編に追加収録。
- 6-4 『光徳寺善隣館関係資料』(昭和九年度—一三年度)
- 6-5 『福田文化の再建』龍谷叢書第十輯 宇野本空編、本派本願寺審議局(昭和一四一年)

●第2回配本 全4巻 揃定価110、000円(揃本体100、000円＋税10%) ISBN 978-4-8350-7023-3 2012年7月刊行

【第7巻 真宗大谷派編①】(解題・菊池正治)

- 7-1 『地方改善方針』大谷派本願寺社会課(大正一三年)〔抄録〕
- 7-2 『大谷派本願寺社会事業調査参考資料』大谷派社会事業協会(大正一〇年)
- 7-3 『大谷派社会事業要覧』高濱哲雄編、大谷派社会事業協会(大正一〇年)
- 7-4 『関東大震災と東本願寺』岡寺興良編、大谷派本願寺関東復興事務局(昭和二年)〔抄録〕
- 7-5 『真宗寺院と社会』武内了温著、大谷派本願寺社会課(昭和二年)
- 7-6 『寺院厚生事業の要訣』教化資料叢書6 安藤専哲述、岩見護編、大谷出版協会(昭和一八年)

【第8巻 真宗大谷派編②】(解題・菊池正治)

- 8-1 『寺院に於ける社会事業』社会事業叢書第一輯 武内了温著、大谷派本願寺社会課(昭和四年)
- 8-2 『行刑教化の話』社会事業叢書第二輯 武田慧宏著、竹中慧照編、大谷宗務所社会課(昭和五年)
- 8-3 『寺院と農村』社会事業叢書第三輯 武内了温著、竹中慧照編、大谷宗務所社会課(昭和五年)
- 8-4 『工場布教に関する常識』社会事業叢書第四輯 菅原惠慶著、竹中慧照編、大谷派宗務所社会課(昭和六年)
- 8-5 『農繁期保育事業のすゝめ』社会事業叢書第五輯 田村克己著、竹中慧照編、大谷派宗務所社会課(昭和六年)
- 8-6 『少年保護一般』社会事業叢書第六輯 徳水恵淳著、高濱哲雄編、大谷派宗務所社会課(昭和七年)

●第3回配本 全3巻 揃定価92、400円(揃本体84、000円＋税10%) ISBN 978-4-8350-7027-8 2012年12月刊行

【第11巻 諸宗派編①】(日蓮宗)(解題・中西直樹)

- 11-1 『日蓮宗大学社会問題研究会広告』『月刊宗報』第四八号・第五〇号・第七四号掲載 日蓮宗宗務院(大正九年一月—一〇年一月—一二年一月)
- 11-2 『立正社事業報』『月刊宗報』第一〇四号附録・第一一五号附録・一二二号附録 日蓮宗宗務院(大正一四年八月—一五年七月—一六年一月)〔抄録〕
- 11-3 『日蓮宗社会事業要覧』大正十五年現在 加藤通温編、日蓮宗宗務院社会課(大正一五年)
- 11-4 『日蓮宗社会事業要覧』昭和十二年三月現在 馬田行啓編、日蓮宗宗務院社会課(昭和二年)〔抄録〕
- 11-5 『日蓮宗社会事業要覧』昭和十五年四月 中村鍊敬編、日蓮宗宗務院社会部(昭和一五年)〔抄録〕
- 11-6 『宗門社会事業指導書』志津木貫誠編、日蓮宗宗務院社会部(昭和一六年)〔抄録〕

【第12巻 諸宗派編②】(曹洞宗・真言宗・浅草寺)(解題・中西直樹)

- 12-1 『財団法人大本山総持寺社会事業部要覧』財団法人大本山総持寺社会事業部(昭和七年)
- 12-2 『財団法人大本山総持寺社会事業部要覧』第七輯 追憶号 岩館昇園編、財団法人大本山総持寺社会事業部(昭和一六年)
- 12-3 『曹洞宗社会・教化各事業大会記録』後醍醐天皇六百回大遠忌記念 沼倉良仙編、財団法人大本山総持寺社会事業部(昭和二年)〔抄録〕
- 12-4 『智山派社会事業要覧』大正十五年五月 第壹輯 智山派宗務所庶務部社会事業調査係(大正一五年)
- 12-5 『豊山派社会事業要覧』昭和七年三月現在 伊東教順編、豊山派社会事業協会(昭和七年)
- 12-6 『浅草寺社会事業概要』大正十三年十月現在 浅草寺社会部(大正一三年)

【第13巻 別編】(解題・菊池正治)

- 13-1 床次竹二郎述「慈善事業の三要義と信仰心」『慈善』第一編第三号 中央慈善協会(明治四三年二月)
- 13-2 井上友一述「地方改良と宗教」『潮恵之助述』感化救済地方改良要義』『第一回布教講習会講義録』全 大谷派本願寺文書科(明治四五年)
- 13-3 小河滋次郎述「犯罪予防上より見たる宗教」『救済』第壹編第三号 大谷派慈善協会(明治四四年九月)
- 13-4 戸藤咄堂述「社会連帯と佛教」『神戸修養会創立一〇周年記念佛教文化大学講座講習録』沙川泰仙編、神戸修養会(大正一五年)
- 13-5 『現代社会事業概観』教会パンフレット第一輯 小沢一著、豊山派社会事業協会(昭和三年)
- 13-6 『寺院中心の社会事業』生江孝之述、田中海心編、智山派社会事業協会・豊山派社会事業協会(昭和四年)
- 13-7 『現代佛教批判』浅野研眞著、構成館書房(昭和六年)〔抄録〕
- 13-8 高橋敏雄述「軍人援護と銃後の教化」『堅信報国興亜生活教本』紀元二千六百年記念 本派本願寺教務部(昭和一五年五月)
- 13-9 『佛教社会事業史上・下』佛教大学講座 谷山恵林著、佛教年鑑社(昭和八・九年)
- 13-10 山口正著「日本佛教社会事業史Ⅰ—V」『真宗』第四二四号—四二七号・第四二九号 大谷派宗務所社会課(昭和二年一月—四月・六月)

しかし、そのわりには従来、一部の研究者を除いてこの方面への関心や論及はあまり一つでしだ。史資料収集上の困難によるところが大きかったからです。このたび、その全貌に迫るための資料群すなわち各教団関係機関の発行にかかる社会事業の要覧・便覧・報告書などを収集整理され、『戦前期 仏教社会事業資料集成』全13巻（復刻版・解題附）が刊行の運びとなりましたこと、社会福祉の歴史や仏教社会福祉に関心のある研究者への便宜はもとより、近代仏教、宗教と社会との関わり、教団史、地域史などの研究に寄与するところ大であつて、この方面では必備の文献に加えられます。

宗教（寺院）の社会貢献が取り沙汰され、地域コミュニティのなかで寺院の果たすべき役割が問われている今、改めて歴史に学ぶべきではないでしょうか。

室田保夫
(関西学院大学名誉教授)

今、仏教は「葬式仏教」と揶揄された状況から抜け出し、その本来の意味を取り戻そうとしている。仏教の原点は「生老病死」「利他主義」等々にあるように、我々の生活にきわめて密着するところにある。「地域の再生」や「新しい公共」といったこともしばしば言われているが、それには仲間と智慧を出し合い自律した創造力が必須である。そして地域や人々の精神、歴史、伝統に根ざしたものでない限り、絵に描いた餅になる危険性もある。多くの先人達の智慧が凝縮された福祉実践をいま一度、振り返ってみることが大切である。

この膨大な資料集成の刊行は、残された多くの遺産から、仏教福祉の本質を理解し、閉塞した状況を打破していこうとする研究者や実践者をおおいに裨益するところとなるに違いない。社会福祉史のみならず、仏教史、地域史、さらに広く近代史に関心のある方にもこの資料集をお薦めしたい。



◎佛教同志會趣意

3